

Title	訃報
Sub Title	
Author	坂口, 昂吉(Sakaguchi, Kokichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1997
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.66, No.4 (1997. 7) ,p.221(695)- 221(695)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19970700-0221">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19970700-0221</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

元三田史学会会長神山四郎先生は、去る十二月三十一日午後七時十五分心不全のため逝去された。享年七十七歳であった。葬儀は一月八日午後一時半から上野毛カトリック教会で行われた。

神山四郎先生は大正八年八月十日に生まれ、昭和十九年九月慶応義塾大学文学部を卒業し、同じく文学部助手、助教授を経て、昭和三十九年四月教授に就任、同じく六十年四月に名誉教授となられた。この間文学部長、大学院文学研究科委員長を歴任し、四十年以上にわたって義塾の教育・研究の上で大きな功績を残された。特に昭和五十四年より五十六年にわたり三田史学会会長を勤め、本会の発展に大いに貢献されたことは我々の記憶になお新しいところである。

神山四郎先生の学問の中心は、歴史哲学・歴史理論であった。ドイツ観念論の歴史哲学の本流を充分究め、さらに英米流の経験主義的な歴史記述の分析も広く渉獵された。かつて林健太郎氏は先生を指して「我が国における唯一の歴史哲学者」との讃辞を贈っている。なお先生は晩年、多年の蓄積を基礎に独自の文明論構築をめざし、病苦と闘いながらその完成に努められた。この最後の業績は残念ながら未完に終わったが、その研鑽の大半は『比較文明と歴史哲学』（刀水書房）の中に収録され、若き

日の著作『史学概論』や『歴史哲学』（いずれも慶応通信）と共に先生の偉業を飾るものとなったのである。

先生はこのようにひたすらな学究であった反面、花鳥風月を愛する優雅な人格の持主で、特に写真については玄人はだしの腕前であられた。ここで見逃しえないのは、先生の優れた学問と美しい人生を総合するものが、カトリシズムであったことである。先生は若き日に洗礼を受けて以来、首尾一貫してこの信仰のうちに歩まれたのである。我々は今、先生が主の御下に憩うておられると信ずるものである。

（坂口昂吉）